



週)報

2012~2013年度))) R I会長)田)中)作)次)
『奉)仕)を)通)じ)て)平)和)を』)
))))))))))第 2570 地区ガバナー)鈴)木)秀)憲)

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長)若松泰誼) 会長エレクト)栗原憲司)))副会長)山室博美))幹事)稲見)淳

〔第 3 グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 940 回(3 月 26 日)例会の記録

点 鐘 若松泰誼会長
合 唱 手に手つないで
第 2 副 S A A 益子君、宮野君
卓話講師 (株)パーフェクトスピーチ
代表取締役 山下末則様
(元日本テレビアナウンサー)
ビジター 野田和秀様・憲子様ご夫妻
(三島西 R C)
榎本宏太郎様(東京三鷹 R C)

出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
30 名	25 名	83.33%	90.00%

パスト会長の時間

栗原(成)パスト会長

「テニスコートのサーフェイスについて」

テニスにおける 4 大世界大会があります。まず 1 月にオーストラリアオープンから始まります。真夏の 40 近い炎天下での、予選を含めると 10 日間程の大会です。今年の男子シングルスでは、錦織選手が Best16 に入り、また女子では全員が一回戦を突破致しました。



オーストラリアンオープンのコートの表面(サーフェイス)は、セメントとゴムチップを混合にした材料を用い、一般的にハードコートと言われ、ボールのスピードが速いのが特徴ですが、硬いので足腰に負担がかかります。一方、一度作ってしまえばコートメンテナンスは簡単で、寿命も 10 年以上と耐久性に優れています。

6 月には全英オープン、いわゆるウィンブルドン大会が開催されます。全世界の選手は他の大会よりもこの大会を最重要大会と位置づけ、この大会で勝つための体調管理をしています。このサーフェイスは天然の芝です。ゴルフのグリーンと同じで、バミューダグラス、ペングラス等数種類

の種、耐久性、寒暖の問題、乾燥に強い芝等が使用されます。そしてセンターコートの芝はこの大会にのみ使用されます。大会が終了すると芝を全部剥ぎ取り、土を作り直し、新たに種を蒔き、一年をかけて完璧な芝を作ります。ボールのスピードは比較的遅いのですが、芝目に影響され、スピンボールを打つ選手がやや有利と言われます。この大会で勝つと、男子シングルスでは 1 億 2 千万円もの賞金がもらえるそうです。



35 年程前、アメリカのアン清村と組んで出場した沢松和子選手が優勝した時は大いに盛り上がりました。また戦前、清水善蔵選手、熊谷選手が活躍しています。確か熊谷選手は日本へ帰国の際、船から落ちて行方不明になったと聞いています。

7 月になりますと、フレンチオープンが始まります。ここのコートサーフェイスはクレイコート、つまり土で作ったコートといわれていますが、実際にはアンツーカーコートで、レンガを細かく砕いて固めたコートです。ボールのスピードは一番遅く、他のコートより軟らかく作っていますので、足腰の負担は一番少ないコートです。一方、サービスマスは激しいラリーの為凸凹が出来易く、イレギュラーバウンドも終盤には多くなってきます。15 年程前、混合ダブルスでインドのブバシ選手と出場した平木理化選手が優勝しています。

10 月には全米オープンが始まります。オーストラリアンオープンとほぼ同じハードコートが使用されます。

どの大会でも観客は単にテニスの試合を楽しむだけでなく、それぞれが趣向を凝らした衣装やパフォーマンスで自分自身を主役にしてしまいます。しかし試合の観戦は誰もがジェントルマン、そしてレディーになり、選手や運営スタッフに敬意を表しています。特にウィンブルドン大会は伝統と歴史の上に成り立っており、皇室も深く関与しているので、大会そのものが引きしまっています。全米オープンでは女子ダブルスで、ベルギーの選

手と組んだ杉山愛選手が7年程前に優勝しています。

私のクラブは5面のクレークコートと3面のオムニコートがあります。日本のクレークコートは田んぼの土、つまり荒木田で出来ています。粘土質の土で保水性が良いのですが、雨が降る度にコートプレスはかかせません。今朝も早起きでプレスとしました時には、塩化カリウムや砂を散布し、コート維持にとても手間がかかり、生き物を飼っているようです。

オムニコートは人工芝に砂を入れたテニスコートです。足腰には優しいコートで、現在日本のコートはオムニコートが主流です。しかし国際大会には採用されていないのが残念です。

テニスの運動量はスポーツの中では高い方で、肘や膝に故障が出易いので、プレーの後の体のケアはとても大切です。

幹事報告

稲見幹事

(定例理事会)次の件が審議・承認されました。

- (1) 4・5月プログラム承認
 - 5/7、外来卓話、若松 隆様
 - 5/14、外来卓話、ガバナーエレクト中井様
 - 5/21は5/20の20周年記念パーティーに振替
1. ガバナー・ノミニー決定について
坂本元彦様(富士見RC)
2. 地区大会・特別表彰者推薦依頼について
3. 受贈会報 入間南RC 入間RC
4. 回覧物 尚寿会広報誌(第84号)

委員会報告

プログラム)))))))))) 佐藤委員長)
プログラム変更について



「外来卓話」・・・・・・・・

『スポーツ中継の裏側』について

(株)パーフェクトスピーチ

代表取締役 山下 末則 様

(元日本テレビアナウンサー)



スポーツ中継の裏側のエピソード、スピーチのノウハウ、キーワードのようなお話をしたいと思っております。

どんな話でも最初のつかみが一番難しいものです。話が難しくてどうしようかと考えた時、一つ良い方法があります。先ほど皆さん食事をされておりますので全く問題ないのですが、食事をする前であると、このクイズを出すのに少し問題があります。

私は箱根駅伝を27回やっておりますが、8年間はスタジオでぬくぬくとメインアナウンサーを務めさせて頂きました。箱根駅伝とは、中継車が正月の寒い時に4台走っておりまして、アナウンサーが大体8人乗っています。中継時間は約7時間程ですが、車に乗りっぱなしです。こうなりますと、寒いと大変です。水分を控えなければならぬ色々行いますが、片道7時間位ずっと車に乗って、生理現象等どうするのだろうかということですが、私たちの時には簡易トイレのようなものがありました。色々なことがあるため女性のアナウンサーは勿論乗っておりません。今はオムツで対応しているようなのですが、やはり生理現象を我慢できるかどうかということです。



私は27回やっておりますが、実はこの生理現象、果たして我慢できなかった、簡易トイレ等を使ったアナウンサーは何人いると思いますか？正月の2日、3日は寒いです。大手町や芦ノ湖の辺りは0以下というケースもあります。大体車に8人ずつ位乗っている中、27年間で何人いたかというクイズを3択で出したいと思います。

...3人, ...5人, ...1人
正解は の1人です。人間、我慢すれば出来るも

のです。正解であった会長に「桑田真澄さんのサイン」をお渡ししたいと思いますが、このように話を進めていけたら良いなど、一つはスピーチをする時、最初にどうやって和ませるかということが一番大きなポイントです。今は裏話をしながらお話しましたが、やはり人間とは考えてきていないとなかなか話が出来ないということは当たり前で、これを何とか一生懸命考えてお話をしております。そして話をするといいますのは、私も今マイクを取りましたが、研修の時には必ずっております。スピーチやプレゼンテーションの時には、このようなマイクをそのまま使わないで下さい、そしてメモを持つのであれば持っても良いので、自分でやった方が良いということです。

一人一人音量が違うので、マイクの調整も大変なのです。そうしますと、やはり自分が一番適音にするためには、持つ方がミキサーさんという技術さんも楽なのです。そして人間何か持っていた方が楽なのです。両手に持っていればもっと楽なのです。人間とは何も無く、手持無沙汰だと固まり易く、何か持って、そして自分が一番話し易い体制にした方が良いのです。私も絶対に動きながら話を致しますが、それは構わないと思うのです。自分が一番話し易い環境を作るということが、大切なのです。そして仕事では、どんな仕事でもできるだけ自分が一番仕事をしやすい環境を作った方が良いと思います。今までの形に囚われていると、いつまでたっても新しい分野に行けないかも知れません。そうした発想でいくと、私たちスポーツ中継の時にはモニターテレビが沢山ありますが、申し訳ないのですが、ミキサーさんに何とか上手く言って、この位置を自分で一番仕事がしやすい位置にセッティングさせてもらいます。我儘かも知れませんが、それで一番自分のベストの放送ができるのであれば、モニターテレビの位置やマイクの高さ、種類を変えてもらい、既定概念を無くするという形でやってきました。

色々な放送上の決め事があり、リハーサルはきちんと行って欲しいのですが、私はリハーサルが大嫌いで、その通りにやるということは殆どありません。ですから、リハーサルと話すことは絶対に違うからと、リハーサルで話すときと音量は全然違うからと言い、一応リハーサルを行っていますが、その通りに何でもしなければいけないということは無いと思います。考え方と致しましては、常に既定概念を打破ということやってきて、メインのアナウンサーをしている時も、8年間位は最初のイントロと言って20秒くらい、箱根駅伝の場合は東京の皇居の画と富士山、湘南の海を上手く重ね合わせたものに、ナレーションと言う自分の五・七・五調を合わせて決めてスタートという形で行いました。この原稿を作るために3日間位頭の中で考え抜き、いわゆる練った原稿で、そこが勝負だと思いスタートさせます。これが出来たらもういいやと思ってしまうほどです。この原

稿は非常に一生懸命考え、やっているのです。

一例をご紹介します。79回大会、私が大好きな練った



コメントなのですが、「若きランナーたちの描いた、かつてない壮大な夢から箱根駅伝は生まれました。その道に挑むランナーたちの幾千、幾万もの想いが、箱根駅伝の魂になりました。遙かなる時を紡ぎ、箱根駅伝が今再び、新たな輝きを放とうとしています。」(会場拍手！)

これが上手くいくと、今日はこれでいけると、人間やはりスタートが大切ですので、それで7時間位中継を行えるのです。第一声、始めは何でも大切です。ここを上手く、どのように決めるのかというコメントを、自分で正月の2日の朝、8時にコメントからスタートするのに、50回位練習しております。箱根駅伝と言いますのは、それだけ物事の積み重ねというものを、アナウンサーは行っております。

箱根駅伝の車のアナウンサーは8名と言いましたが、実は日本テレビは箱根駅伝に20名のアナウンサーを投入しております。日本テレビのアナウンサーは、毎年50人前後です。年末年始がなく、3日までやっております。この20名のアナウンサーは11月の後半から、普段の仕事をしながらこの箱根駅伝の資料整理、取材にかかりっきりになります。普段の仕事をしながらですので、当然超過勤務にもなり、私も社員の時には250時間位ありました。その時はそれだけすごい金額になっておりましたが、毎日ほとんど午前2時位まで仕事をしておりました。資料整理や色々なコメントを考えること、全て100キロ以上の情景を浮かべながら、毎年準備をしていくのです。同じ箇所の、例えば東京タワーや増上寺の表現を毎年変えなければならないので、どのように表現しようかと考えていくのです。要するにアナウンサーは毎年同じことをやりたくなく、別の事をしたいのです。それで非常に苦労するのです。1回や2回ならばいいのですが、7回、8回になると本当に苦痛でしたが、そうしたものが100キロの中で50箇所位あるのです。そうしたものを作る時に、やはりそれだけの時間が掛かるのです。そしてもっと大変なのは、20チーム出場致しますが、その20チームを20名のアナウンサーで11月の中旬位に各大学に取材に行き、そして一人一人、約20分、根ほり葉ほり聞いていくのです。名前の由来や、そして上り下りに強い選手は、山間部のアップダウンがある所に通学していた学生さんの方が適正があったり、また海岸で走っていた選手の足腰が強いので、そうした話をすべて聞いていったり、なぜ走るようになったのか等を20名のアナウンサーで一人1校を全て担当するのです。私もメインでしたが、大学を担当し、一人一人、いわゆるサブのメンバーも含めると15名位、約20分ずつ計

300分、次から次というわけにはいかないですので、そうしますと5時間、6時間位、2~3回に分けて取材をしております。

女性アナウンサーも6名位おりますが、画面で活躍しているアナウンサーにもこのようなことをさせますので、西尾アナウンサーも柴田アナウンサーもそうした形で、実際に仕事をしながら取材に行かれました。とにかく監督コーチを含め20名近くを11月の間になんとか時間を取って、そして大体12月10日午後8時が締切日なので、それまでにA3の用紙に、20人の選手のアンケートを誤字脱字が無いように作り、20人のアナウンサー向けにコピーをして収めることが、箱根駅伝のアナウンサーの一つの大きな仕事です。絶対にこの時間を過ぎてはいけないということにはなっておりますが、どうしても体力的にレギュラーを持っている女性アナウンサーは厳しいものがあるので、時には例外もありますが、しかしタイムリミットを設定してやっておりました。そのためやはり200時間、300時間超過してしまうのです。昔は日本テレビも景気が良かったので青天井で、残業代だけで数十万ということもありましたけれど、今はそんなことはできませんので、確か80時間程で切っていると思います。しかしサービス残業ではありませんが、出来ないと思います。それくらい毎年、毎年資料を積み上げて、1月2日、3日の資料は全員が持って、あの実況に当たります。

車に8人とお話ししましたが、4台あるとすれば2人ずつ乗っておりますが、実際に実況するアナウンサーと声を出さないサブのアナウンサーになります。しかし入社2~3年目の若手のサブのアナウンサーに言っているのは、1号車のアナウンサーがもし風邪や熱で出来ないときには、君が実況するという事です。つまり、2号車のアナウンサーを格上げはしないということです。1号車のアナウンサーになったつもりでやりなさいと、私たちは若いアナウンサーに言い、勉強させ、自分も話さなければいけないのだと思わせております。そんなことは今まで1度もなく、実際には2号車を1号車にするかもしれませんが、しかしそれくらいの覚悟がなければやれませんので、そうして積み上げていき、だんだんと箱根駅伝で中継所のアナウンサーになるために5年~6年かかります。そして中継所を5年位担当して、3号車位の車に乗せるといった形で積み上げていきますので、箱根駅伝とは、男性アナウンサーにとって、なんとか車にのって担当したいというものなのです。

箱根駅伝の7時間の視聴率は28%位あるわけで、こんなスポーツの中継はありません。WBCも第1回、第2回の決勝戦は約40%と凄い数字でしたが、7時間で30%近いというお化け番組はないのです。以前私が、「今度は箱根駅伝のセンターの実況をスタジオで担当することになりました」と長嶋茂雄さんに言いましたら、12月位に「山下さん、箱根駅伝、あれは国民的行事ですよ」と言って頂

きました。やはり30%の視聴率ということで、国民的行事と認めて頂きました。日本テレビは高校サッカーも正月に放送しておりますが、8人位のアナウンサーが担当しておりますが、「箱根駅伝は30%だから良いよな。俺たちは大体とっても3~4%だからな。」と、そんなことを言います。私は「そんなことない、高校生のスポーツを伝えることは非常に大切なのだ」と言っておりますが、箱根駅伝の時にはいつも表彰されて、高校サッカーはあまり表彰がない等と言われたりもします。あの駅伝をするためには、このようにアナウンサーが下積みで、若いアナウンサーが全部経験してきていると考えて頂いて良いのです。

日本テレビの場合は特に、指定制度というものがあまして、アナウンス部の電話とは、その部屋の一番若いアナウンサーが取らなければならないのです。部長クラスで、お局のような女性アナウンサーに、とても速く、2秒で電話を取る人がいるのですが、そうすると新人アナウンサーはそれを知っていますので、カルタ取りのようにすごい勢いで取りに行くのです。それぐらいでない駄目だということです。そして電話にでて、おまけに話をして少しアクセントでも違うものなら、5~6人のアナウンサーが「え？」という顔をします。若いアナウンサーは時々、2月の言い方を間違えますが、すると皆に、一斉に非難の目で見られます。時々ニュースを聞いていても間違えているアナウンサーがおりますが、こうした一言一言を全て電話で聞いていて、いじめている訳ではないのですが、今何と言った？となるのです。そうして教えていくのです。毎日毎日が研修ということで、その研修を自分自身でやっていかなければいけないということなのです。

スピーチのノウハウですが、簡単に言いますと、発声・発音法は縦に口を大きく開けて顎を動かして下さい。これが一つの大きなポイントです。そして自分の体で話して下さい。声が小さくてシャイな皆さんに、なにか挨拶をしてもわからないという人に、とにかく声を出すために一番よくやるトレーニングが一つあります。

今桜が満開です。この桜を皆に楽しんでもらいたい、その気持ちを全部スピリット、情熱を込めて伝えたい、そうしたものをとにかくやってくれと話します。これが出来れば、自分の殻をかなり破れます。どのようにしてやるかといいますと、「**見事です。桜が満開です。二千本もあるのです。**」これをとにかく、来てください！一緒に！！といった感じで伝えて欲しいということです。どう表現するかといいますと、マイクは使わず、大きな声で、体で表し、情感を込めて伝えて欲しいのです。話すということは、パッション、情熱で伝えなければならないのです。

スポーツの中継で、私たちはホームランやゴールの実況するとき、すごいことなのだと、情熱を伝えようとします。そして6分間に1度位、こう

したことをするのは、野球中継では、エラーをすると「あー！」等と言いますが、人間とはこうした間投詞に弱いのです。「おっ！」と言われれば、やはりテレビに振り返ります。ホームランの時も大きな声で「ホームラン！！」と言えば、振り返るのです。こうしたものを、視聴率を取るためには必要だと、演出することもあります。

今お話した「見事ですね...」という桜の話も、一つの演出です。これくらいの物を持たないと、なかなか相手の胸には響かないのです。人間とは声を出そうと思えば出るもので、少しこうしたものが出来れば良いと思います。

92年にバルセロナオリンピックの担当をしましたが、陸上をやるときは一つだけ心がけようと思いました。世界各国の放送する席が20位あるのですが、同じ競技の中継を各国行っておりまして。私が考えておりましたのは、声の大きさだけは絶対に世界の他の人に負けたくないということで、大きな声でガンガン話しました。そうしましたら隣のアメリカのNBCのコメンテーターが来て、「You are NO.1. Your voice is biggest, NO.1.」と言われました。声がただ大きいだけでしたが、けれども何かそうしたものを自分自身で作っていかねばと思いました。

声が出ない人にはいつもこのトレーニングを何十回とやって頂きます。女性にもです。そうすると声ができるようになるのです。どなっても良いのです。これが一番大切なことなのです。そして声ができる相手には非常に伝わり易いのです。声を出すために「アエイ・ウオ・アオ」という発声練習をアナウンサーもよく致します。女性はなかなか難しいのですが、男性は指三本が入る位、一度口を開けと言います。皆さん縦に口をあまり開かず、顎をあまり使わないので、どうしても口がもごもごとした感じになるのです。

名前もやはり、「山下 末則です」と苗字と名前を切って言わなければ、伝わらないと言っています。名前を言うということは、自分が色々な会合で話をする時で、そうした時は自分をアピールする場所だと考えて欲しいので、会社名も言った方が良いと思います。私の会社名も非常に難しく「パーフェクト スピーチ」と、一度切って言うようにします。出来るだけはっきり伝えるということです。

今お話したのは、名前等、日本人は何となく遠慮がちに話そうとするものを、きっちりと言った方が良いということでしたが、そしてもう一つ、研修的な意味合いで言いますと、スピーチやプレゼンテーションで、話す時に一番「surrounding (状況・周りを見る)」ということです。つまり聞き手の人がどんな相手であるかということをもまず良く考え、その人にあった話をした方が良いのです。野球の難しい話をする事もできますが、女性の皆さんにはわからないと思います。そうしますと、ある程度女性の皆さんにもわかり易いよう

な感じで、相手の分析をして下さいということですよ。結婚式のスピーチ等は、来ている人がどのような人か全て調べて下さいということです。階層によって、あるいはどんな友達がきているかということ、それが必要なのです。

私が良く使う話ですが、社長さん等が出席されているかなりグレードが高い結婚式でしたが、社長さんが代表挨拶で部下の女性社員の話をすると、「イベリコ豚」の話をしました。その女性が少し天然系の、可愛らしくて純な人なのですが、社長さんと一緒に食事に行った時に、レストランでウェーターに「今日は良いイベリコ豚が入っています」と言われたそうです。するとその女性が「私、イベリの子豚大好き」と言ったそうです。社長に反応を聞いてみましたが、レストランに行き慣れている人が多く、8割ウケたそうで、そこから挨拶をスタートしたそうですが、やはり沸かない人にこのようなことを言っても仕方ないのです。相手をまず知り、そして話を決めていくということです。そしてストーリー、シナリオです。どうやって、協会用の話をつくれるかということです。私は2分間スピーチ等、色々やって頂くのですが、その時に必ず、まず自分自身で書いて下さいと言います。人間といいますのは、書かなければ2分間位の話をする事はできません。頭でつかみを取り、専門用語はあまり使わずに、相手に一番わかり易く、そして最後に何とかオチが作れるかということを書かずにできるというのは、相当な天才です。アナウンサーでも中々できません。こうしたものは自分の中で一度整理をして書かなければなりません。

「朝」をテーマに話をして下さいと言うと、大体「苦手」や「大好き」といった話になりますが、朝に特に自分が失敗した話を上手く入れて、それから朝というのがただ起きるということではなく、例えば夜勤などで2時から3時までが朝でしたといった感じで、発想の転換をさせるものがある人は非常に話しやすいと思います。

それからスタイルです。外見、身だしなみ、姿勢、アイコンタクト、こうしたものを出来たら磨いて頂きたいと思います。私の会社では、カラーコーディネーターでファッションチェックといって、この人にはどんな色のものが合う等といったことを最後に行うケースがあります。それと姿勢とアイコンタクトで、どのように姿勢を正せるかということです。男性でも姿勢を正した方が良いと思います。今フリーになった羽鳥というアナウンサーがおりましたが、猫背で、もう治らないのです。今本人は売りにしておりますが、入社した時からかなり言いました。本来は背筋をピシッと伸ばしてやって頂きたい、これはどうしても必要なことだと思います。

そして「Speak out」と言って、話すよりも語りかけて下さいということです。単に一方通行で話すのではなく、相手に向かって語りかけて欲しい

のです。これをいつも意識し、相手が聞いているかどうか、興味持っているかということを考えながら、話を進めて欲しいのです。語りかける気持ちを持ち、相手がどうであるか考える、普段の1対1の会話でもそうですが、商売上、営業でプレゼンをしたとき、相手が聞いていないと思ったら早めに切り上げた方が良いでしょう。

そしてこれもよく言うのですが、自己紹介というのは、ほとんど皆さん会社紹介です。自己紹介というのは、3分あったら、会社の紹介は30秒でよく、自己紹介を2分30秒やって頂きたいのです。しかし日本は必ず会社の紹介になります。問題はやはり、自分のことを語ってほしいということで、こうすると、相手が聞いている、聞いていないということがかなりわかると思います。自分が気持ちを込めて話さないと、相手には響きません。これをいつも考えて話が出来ると、相手が聞いているかどうかということを感じとれますので、それ位の余裕があると上手く話が出来ると思います。

最後は「Sprite」といって、自分の気持ち・情熱を込めてやらないと、なかなか話とは上手く展開しません。やはりここが一番必要で、相手の目を見て話しましょうということです。

色々とお話しましたが、全ては但し、相手にはっきりと言葉が伝わらないといけないので、口を大きく開けて、顎を縦に動かして話をするということが基本です。研修でも、最初の1日は、若い人たちは1時間位一人でもこれを行います。ここからスタートしなければ相手には絶対に伝わらないので、ここを何回も繰り返しながら、「surrounding」、「シナリオ」、「スタイル」、「speak out」等を考えますが、そこが一番大切だと考えております。

スピーチやプレゼンテーションで始まりましたが、先ほど会長からお話がありましたように、今私は、ゴルフのLPGAというアメリカンツアーの中継(WOWWOW)や、福岡ソフトバンクのドームに行き、月に2回福岡から中継をしたり、千葉でロッテ戦を中継したり、サッカーの中継をしたりしております。何となくアナウンサーとして頼まれた仕事が忙しくなってしまう、あまり研修の方をしておらず、妻が研修をしております。一番メインは女子社員の研修ということで、コミュニケーション能力、マナー、身だしなみ、女性リーダーをどのように作るか等、妻は一応キャリアコンサルタントの資格も取っておりますので、後は新入社員の研修等行っており、私はスピーチやプレゼンテーションを担当しております。どういう訳か意外と証券会社が多いのです。妻は非常に厳しい研修をしており、私から見るとそこまで言わなくてもいいのではということがありますが、やはりそういうものを経験しながらやっております。

何か機会がありましたら、「桜が満開・・・」をどうしてもやりたいという方いらっしゃいましたら、どしどしお申し出下さい。

))))))
)
)
)
)



野田和秀様(三島西RC)

卓話素晴らしかったです。ありがとうございました。

榎本宏太郎様(東京三鷹RC)

若松会長には大変お世話になっております。

若松君 山下様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。また、野田様、榎本様、本日は遠方よりようこそ。

稲見君 元日本テレビアナウンサー山下末則様、今日のお話楽しみです。

江原君 元日本テレビアナウンサー、(株)パーフェクトスピーチ代表山下末則様、本日はお忙しい中、お越し下さりありがとうございます。卓話楽しみにしておりました。よろしくお願ひ致します。

寶積君 200年のしだれ桜が満開です。是非見に来て下さい。

栗原(成)君 会長の時間を担当させて頂きます。忙しかったので、付け焼刃の話です。昼下がりです、寝たい人はどうぞ存分にお休み下さい。

次の例会 4月9日(火)

例会臨時変更

親睦ゴルフコンペ

(武蔵CC・笹井コース)

午前9時03分スタート

家族同伴お花見夜間例会

(狭山東武サロン)

午後6時 点鐘